

平成26年度 小学校外国語活動実施状況調査の結果 [概要]

1 調査の目的

平成23年度より全国の小学校で全面実施された外国語活動の実態を把握・分析することにより、次期学習指導要領の改訂や今後の施策の検討に資するとともに、各都道府県等における小学校外国語活動の充実や改善等に役立てるため、本調査を実施。

2 調査の内容等

調査内容・対象

- ・全国の公立小学校を無作為抽出し、外国語活動を学ぶ小学校5,6年児童及び導入後に外国語活動で学んだ中学校1,2年生徒を対象に関心・意欲や学習状況などを質問紙調査。
- ・調査実施校の担当教員に対し児童生徒の変容、課題などを質問紙調査。

公立小学校

- ・5,6年児童(児童調査)22,202人
- ・管理職(管理職調査)2,834人
- ・学級担任等(外国語活動を担当する教員調査)3,203人

公立中学校

- ・1,2年生徒(生徒調査)24,205人
- ・管理職(管理職調査)2,853人
- ・外国語科担当教員(教員調査)3,181人

調査手法・分析

- ・各学校へ直接質問紙を送付し、調査を実施
- ・小学校は平成24年2月(平成23年度)、中学校は平成24年11月(平成24年度)に実施した同様の調査との比較を行った。

調査実施時期：平成27年2月(平成26年度)

3 調査結果の分析

小学校5年生 中学2年生の英語に対する意識

小学校5,6年生の70.9%、中学1年生の61.6%、中学2年生の50.3%が「**英語が好き**」と回答。

小学校5,6年生の72.3%、中学1年生の60.2%が「**英語の授業が好き**」と回答。

小学校5,6年生の91.5%、中学1年生の89.4%が「**英語が使えるようになりたい**」と回答。

外国語活動に肯定的な小学生の割合が高い。
中学生に上がると英語に対する肯定感に課題。

小学校5年生 中学2年生の将来の英語使用のイメージ

「**英語を使ってみたいことは何か**」という問いに対し、小学校5,6年生の84.4%が「**海外旅行に行くこと**」、77.1%が「**外国の人と友達になること**」、75.5%が「**外国の人と話すこと**」と回答。

中学1年生の77.9%が「**外国旅行に行くこと**」、72.2%が「**英語の歌を聴いたり歌ったりすること**」、69.1%が「**外国の人と話すこと**」と回答。

中学2年生の87.1%が「**授業で学習したことは将来社会に出たときに大変役に立つと思う**」、42%が「**将来英語を使って海外でぜひ働いてみたい、機会があれば働いてみたいと思う**」と回答。

将来、海外旅行や外国人との交流、仕事で英語を使いたい児童生徒の割合は高い。

小学校5年生 中学2年生の英語の勉強に対する意識

「**英語の勉強は大切だと思うか**」という問いに対し、小学校5,6年生の85.3%、中学1年生77.7%、中学2年生75.8%が「**英語の勉強が大切だと思う**」と回答。

そのうち、「**大切だと思う理由**」として中学2年生の52.3%が「**高校等の受検で必要だから**」、43.1%が「**海外の人たちとコミュニケーションをとれるようになりたいから**」、41.8%が「**将来、仕事をする上で英語が必要だから**」と回答。

小学校5,6年生、中学1年生の英語使用に対する意識

「外国の人が話しかけてきたら、あなたはどのように思うか」という問いに対し、

- ・小学校5,6年生の47.3%、中学1年生の54.4%が「英語で受け答えする」、
- ・小学校5,6年生の23.0%、中学1年生の14.7%が「日本語で受け答えする」と回答。

小学校5,6年生の小学校の英語授業に対する意識

「英語の授業の中で楽しいと思うこと」について、児童の

- ・75.8%が「外国のことについて学ぶこと」
- ・71.4%が「日本語と英語の違いを知ること」
- ・66.6%が「英語で友達と会話すること」と回答。

中学1,2年生の小学校の英語授業に対する意識

「小学校の英語の授業で学んだことの中で、中学校の英語の授業で役に立ったことはあるか」という問いに対し、**中学1年生の**

- ・88.8%が「アルファベットを読むこと」
- ・83.9%が「アルファベットを書くこと」
- ・82.8%が「英語で簡単な会話をすること」
- ・75.8%が「英語の発音を練習すること」と回答。

「小学校の外国語活動でもっと学習しておきたかったこと」という問いに対し、**中学1年生の**

- ・80.1% (77.9%) が「英単語を読むこと」
- ・83.7% (81.7%) が「英単語を書くこと」
- ・79.8% (77.6%) が「英語の文を読むこと」
- ・80.9% (78.6%) が「英語の文を書くこと」と回答。



小学校高学年で「読む」「書く」も含めた言語活動への知的要求が高まっている状況。

「英語の授業の中で、どのようなことをもっとしてみたいか」という問いに対し、**中学2年生の**

- ・59.7%が「英語で映画などを見ること」
- ・38.7%が「英語で歌を聴いたり歌ったりすること」
- ・33.8%が「英文法の学習」と回答。

一方で、

- ・8.7%が「自分の意見や考え、感想などを英語で発表すること」
- ・6.4%が「ディベートやディスカッション」と回答。

小学校外国語活動・中学校外国語科担当教員から見た児童生徒の変容

外国語活動導入前と比べ、

・小学校教員の76.6%が小学校5、6年生の児童に「成果や変容がとてもみられた」と回答。

そのうち、

- ・78.5%が「音声に慣れ親しんだ」
- ・64.2%が「基本的な表現に慣れ親しんだ」と回答。

外国語活動導入前と比べ、

・中学校教員の65.3%が中学校1年生の生徒に「成果や変容がとてもみられた」と回答。その変容の具体として、

- ・92.6%が「英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」
- ・93.5%が「英語の音声に慣れ親しむ」と回答。



多くの外国語科担当教員は外国語活動導入による成果や児童生徒の成果や変容を肯定的に捉えている。

中学校の管理職への「小学校で外国語活動が行われたことで、中学校の英語担当教員に変容は見られたか」という問いに対し、

- ・63.3%が「外国語活動を踏まえた指導の工夫がみられるようになった」
- ・50.3%が「小中連携による取組が一層促進された」
- ・34.8%が「授業で英語を使うことに対する意識が一層高まる」と回答。



中学校の外国語科担当教員からも肯定的な意見

小学校5,6年生、中学1,2年生の英語授業に対する理解

「英語の授業に進んで参加しているか」という問いに対し、小学校5,6年生の71.4%、中学1年生の67.6%が肯定的な回答。

「英語の授業の内容を理解していると思うか」という問いに対し、小学生5,6年生の65.2%、中学1年生の57.0%、中学2年生の48.9%が「理解している、どちらかといえば理解している」と回答。

一方で、小学校5,6年生の7.7%、中学1年生13.5%、中学2年生の19.7%は「理解していない、どちらかといえば理解していない」と回答。



学年が上がるほど授業理解に課題

小学校外国語活動に対する教員の意識

外国語活動に対する意識に関して、教員の88.2%が「おおよそのイメージはつかめている」、91.5%が「児童と一緒に楽しんでいる」と回答。

一方、教員の

- ・60.8%が「準備などに負担感がある」
- ・67.3%が「英語が苦手である」
- ・34.6%が「自信を持って指導している」と回答。

今後の課題として、担当教員の

- ・51.7%が「教員の指導力」、
- ・48.7%が「教材・教具等の開発や準備の時間」、
- ・30.4%が「外国語活動に関する研修」
- ・29.7%が「ALT等の外部人材との打ち合わせの時間」と回答。

小学校外国語活動の教員研修に対する意識

外国語活動に関する学校外の研修へ、63.5%の小学校教員が「今年度中に参加していない」と回答。

必要と感じる研修は、

- ・74.6%が「具体的な活動について共通理解を図ったり体験する研修」
- ・48.0%が「今後の小学校における外国語教育の在り方について共通理解を図る研修」
- ・47.3%が「学級担任等による外国語活動の研究授業を参観し、研究授業について協議する研修」と回答。

小学校教員の研修参加割合は低く、具体的な活動の共通理解を図る研修などへのニーズは高い。

小学校管理職の教員研修に対する意識

管理職の39.9%が「今年度中に、外国語活動に関する校内研修を行っていない」と回答。

必要と感じる研修は、

- ・74.7%が「具体的な活動について共通理解を図ったり体験する研修」
- ・56.1%が「学級担任等による外国語活動の研究授業を参観し、研究授業について協議する研修」と回答。

中学2年生の英語授業に対する意識

「**授業でどの程度できていると思うか**」という問いに対し、中学2年生の

- ・81.1%が「英単語を読むことができている」
- ・76.8%が「発音練習や英文を音読することができる」
- ・72.7%「生徒同士で英語を使ってやりとりをすること（ペアやグループでの活動）ができている」
- ・71.0%「英単語を書くことができている」

と回答。

一方で、

- ・49.2%「自分の意見や考え、感想などを英語で発表すること（スピーチやプレゼンテーション）ができている」
- ・33.6%が「エッセイなど、ある程度まとまりのある文章を書くことがほぼできている」
- ・20.7%が「ディベートやディスカッションをすることがほぼできている」

と回答。



「単語を読む・書く、音読、生徒同士で英語を使ってやりとりをすることができていると考える生徒の割合は高いが、自分の意見や考えを書く・話すことができていると考える生徒の割合は低い。」

中学校の外国語担当教員の言語活動に対する意識

「**英語の授業において、どのくらい行っているか**」という問いに対し、中学校外国語科担当教員が「よく行う、時々行う」こととして

- ・99.5%が「単語等の発音練習」
- ・99.5%が「英文の音読」
- ・98.0%が「文法の説明」
- ・97.8%が「言語材料を活用できるようにするための練習」

と回答。

一方で、それを活用して行う

- ・「ライティング」は66.0%、「スピーチ」は56.6%、「プレゼンテーションやスキット（寸劇）」は36.0%、「ディベート、ディスカッション」34.7%
- と割合は低い。



「単語の発音練習、音読、文法説明」をよく行っていると考える教員の割合は高いが、それらを活用して「まとまりのある文書を書いたり、発表・討論などを指導している」と考える教員の割合は低い。」

児童生徒の英語に対する意識

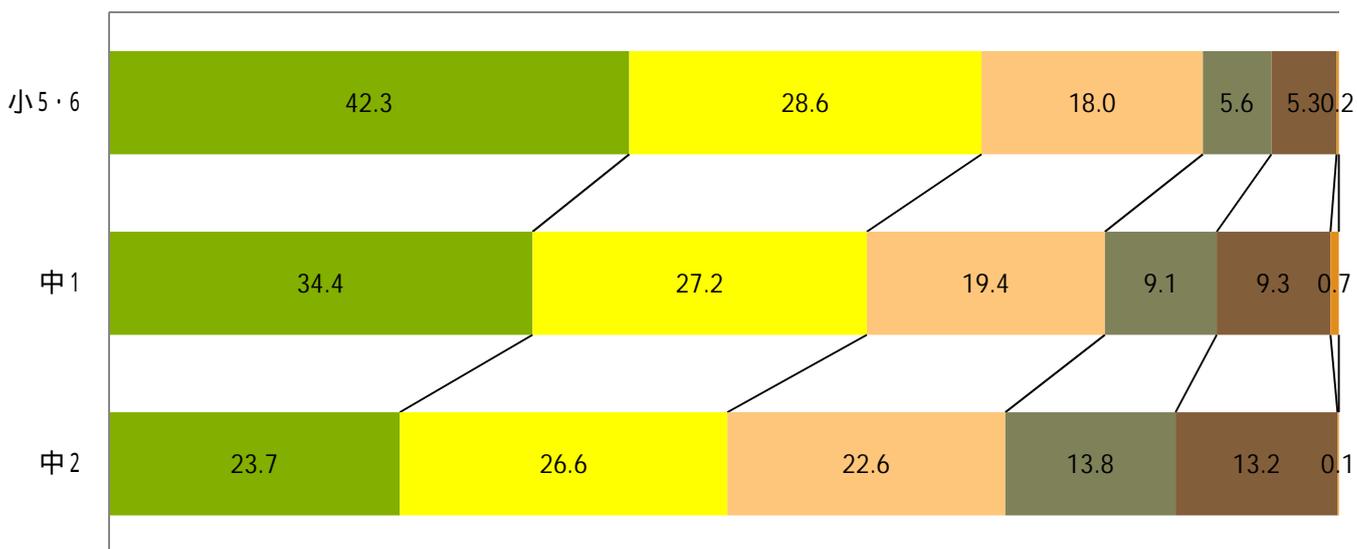
英語に対する意識

小学校5,6年生の70.9%、中学1年生の61.6%、中学2年生の50.3%が「英語が好き」と回答。

Q. あなたは、英語が好きですか。(単数回答)

■好き ■どちらかといえば好き ■どちらともいえない ■どちらかといえば嫌い ■嫌い ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



英語の授業に対する意識

小学校5,6年生の72.3%、中学1年生の60.2%が「英語の授業が好き」と回答。

Q. 英語の授業は好きですか。(単数回答)

■好き ■どちらかといえば好き ■どちらともいえない ■どちらかといえば嫌い ■嫌い

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

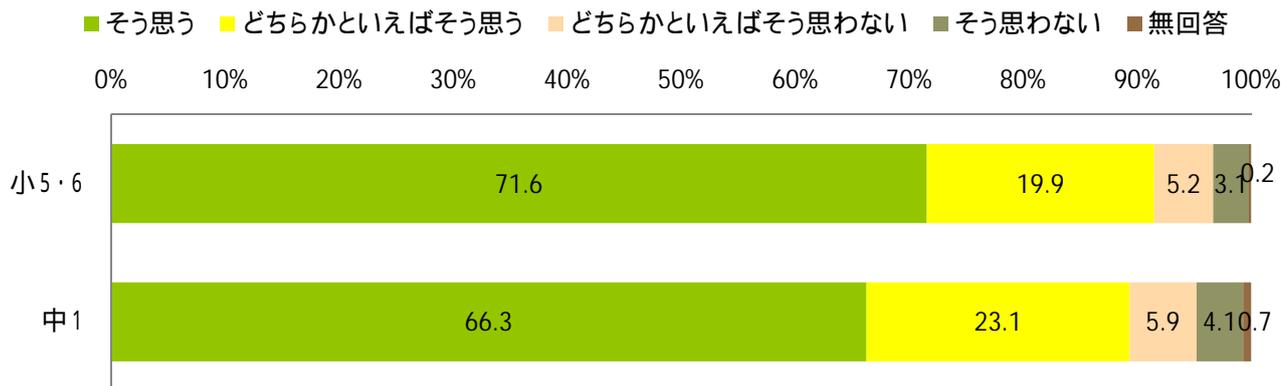


児童生徒の英語に対する意識

将来の英語使用に対する意識 (小5・6、中1)

小学校5,6年生の91.5%、中学1年生の89.4%が「英語が使えるようになりたい」と回答。

Q. あなたは、英語が使えるようになりたいですか。(単数回答)



将来の英語使用に対する意識 (小5・6、中1)

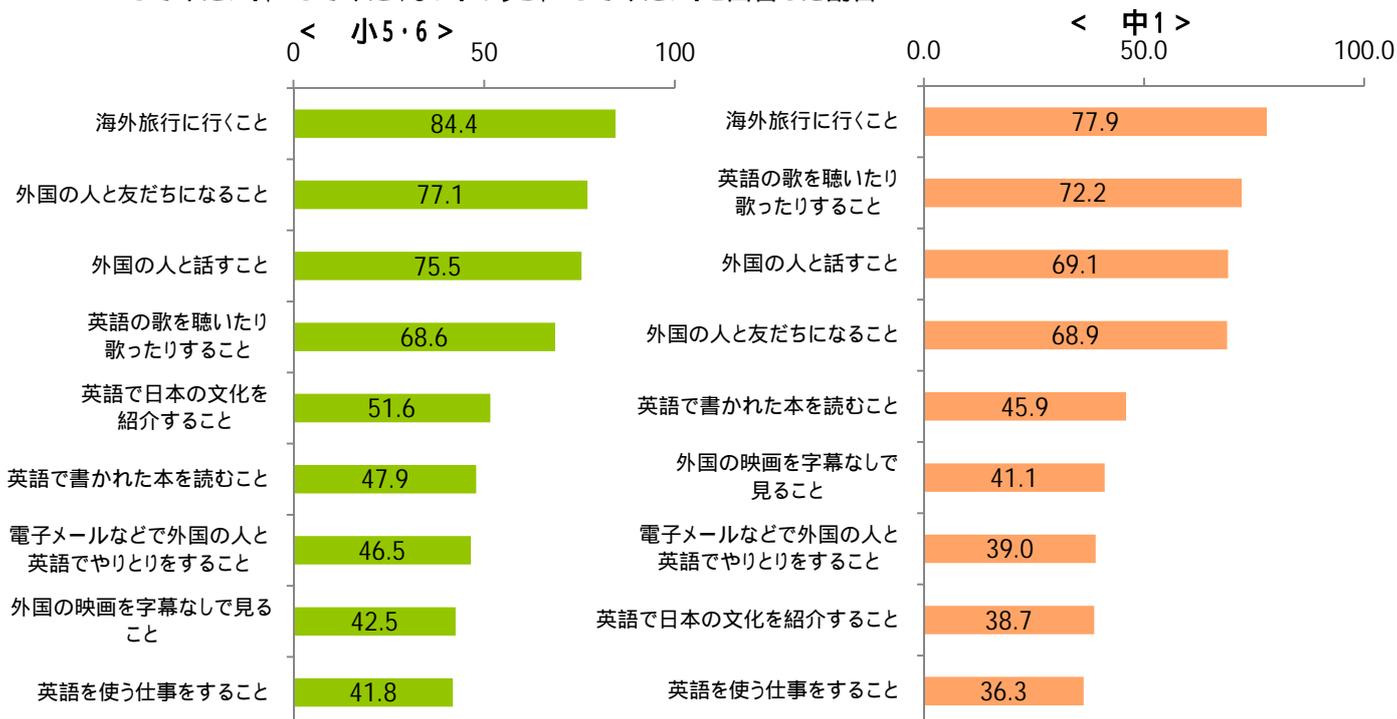
「これから英語を使ってしてみたいことは何ですか」という問いに対し、

- ・「海外旅行に行くこと」は、84.4% (小5・6)、77.9% (中1)
- ・「外国の人と友達になること」は、77.1% (小5・6)、68.9% (中1)
- ・「外国人と話すこと」は、75.5% (小5・6)、69.1% (中1)
- ・「英語を使う仕事をする事」は、41.8% (小5・6)、36.3% (中1)

の児童生徒が「してみたい」と回答。

Q. これから英語を使ってしてみたいことは何ですか。

「してみたい」、「してみたくない」のうち、「してみたい」と回答した割合

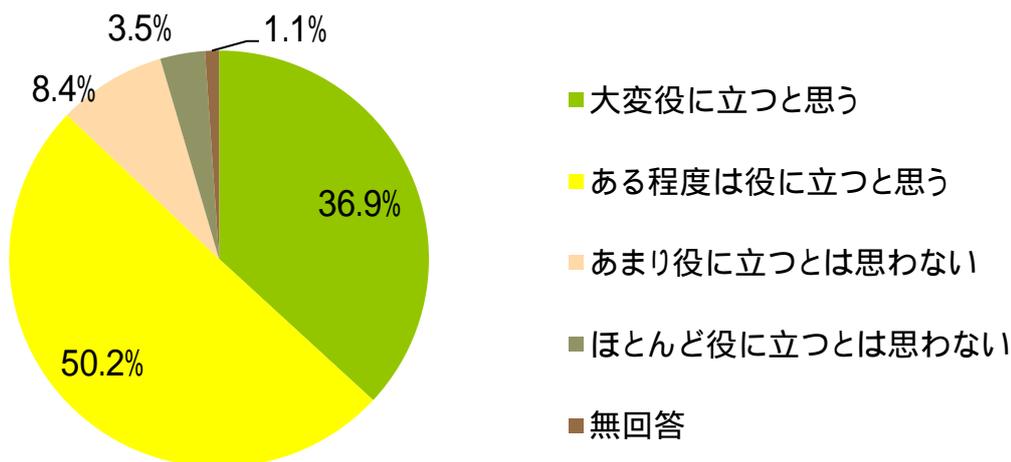


児童生徒の英語に対する意識

将来の英語使用に対する意識 (中2)

生徒の87.1%が、授業で学習したことは将来社会に出たときに「大変役に立つと思う、ある程度は役に立つと思う」と回答。

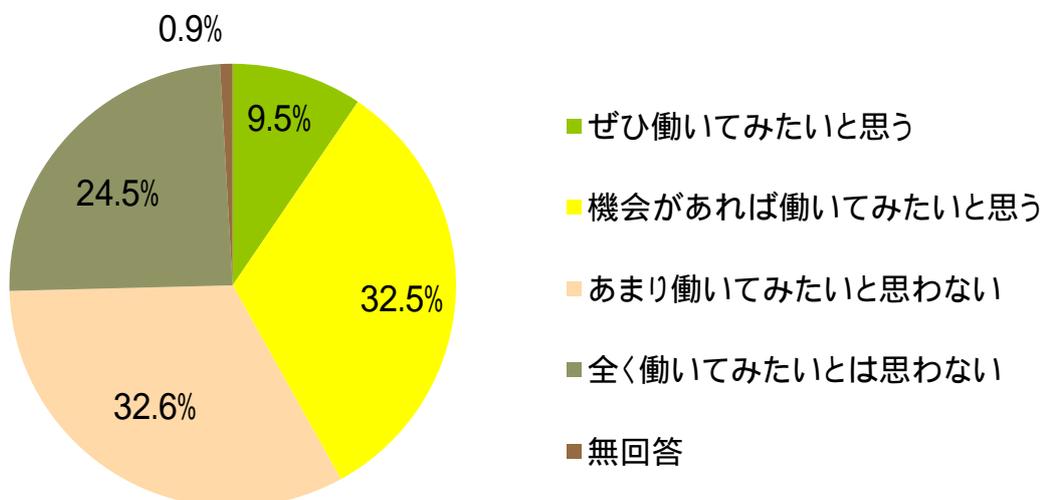
Q. 授業で学習したことは、将来社会に出たとき役に立つと思いますか。(単数回答)



将来の英語使用に対する意識 (中2)

生徒の42.0%が将来英語を使って「ぜひ働いてみたい、機会があれば働いてみたいと思う」と回答。

Q. 将来、英語を使って海外で働いてみたいと思いますか。(単数回答)



児童生徒の外国語活動・外国語科に対する意識

英語の勉強に対する意識（小5・6, 中1, 中2）

「英語の勉強は大切だと思うか」という問いに、85.3%（小5・6）、77.7%（中1）、75.8%（中2）が「そう思う」と回答。

Q. あなたは、英語の勉強は大切だと思いますか。（単数回答）

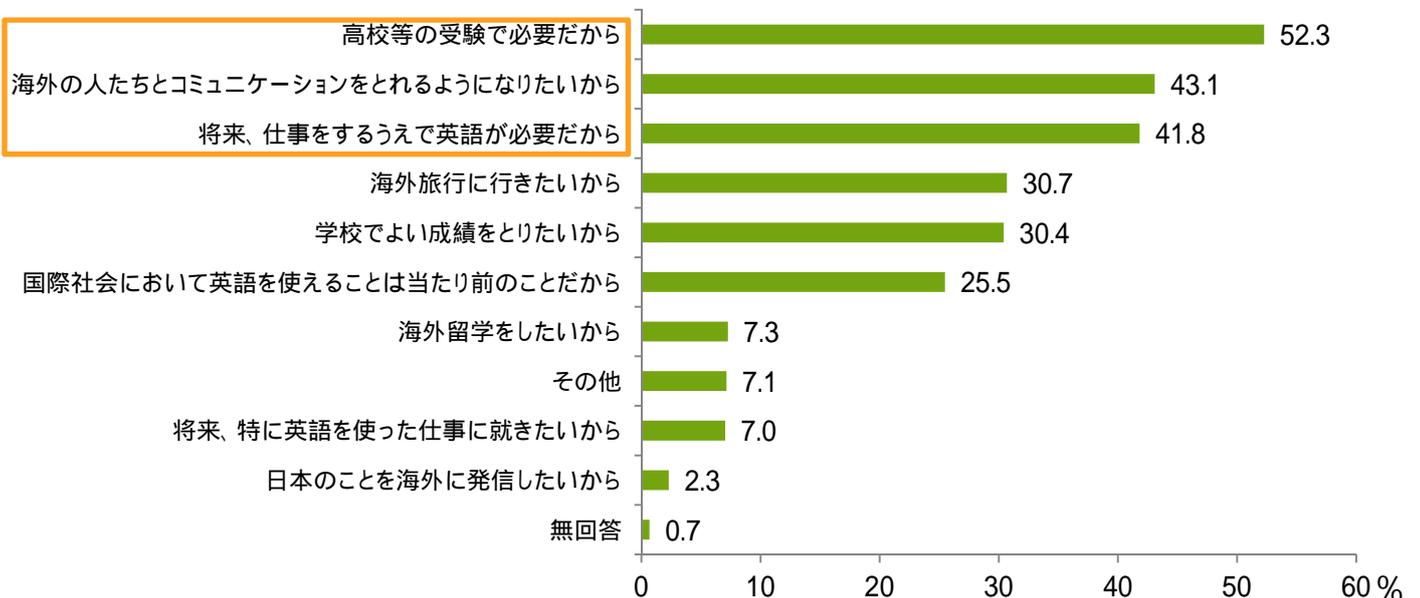


将来の英語使用に対する意識（中2）

英語の勉強が大切だと思う理由として、生徒の

- ・52.3%が「高校等の受験で必要だから」
- ・43.1%が「海外の人たちとコミュニケーションをとれるようになりたいから」
- ・41.8%が「将来、仕事をするうえで英語が必要だから」と回答。

Q. 英語の勉強が大切だと思うのはなぜですか。（3つまで複数回答）



児童の外国語活動に対する意識

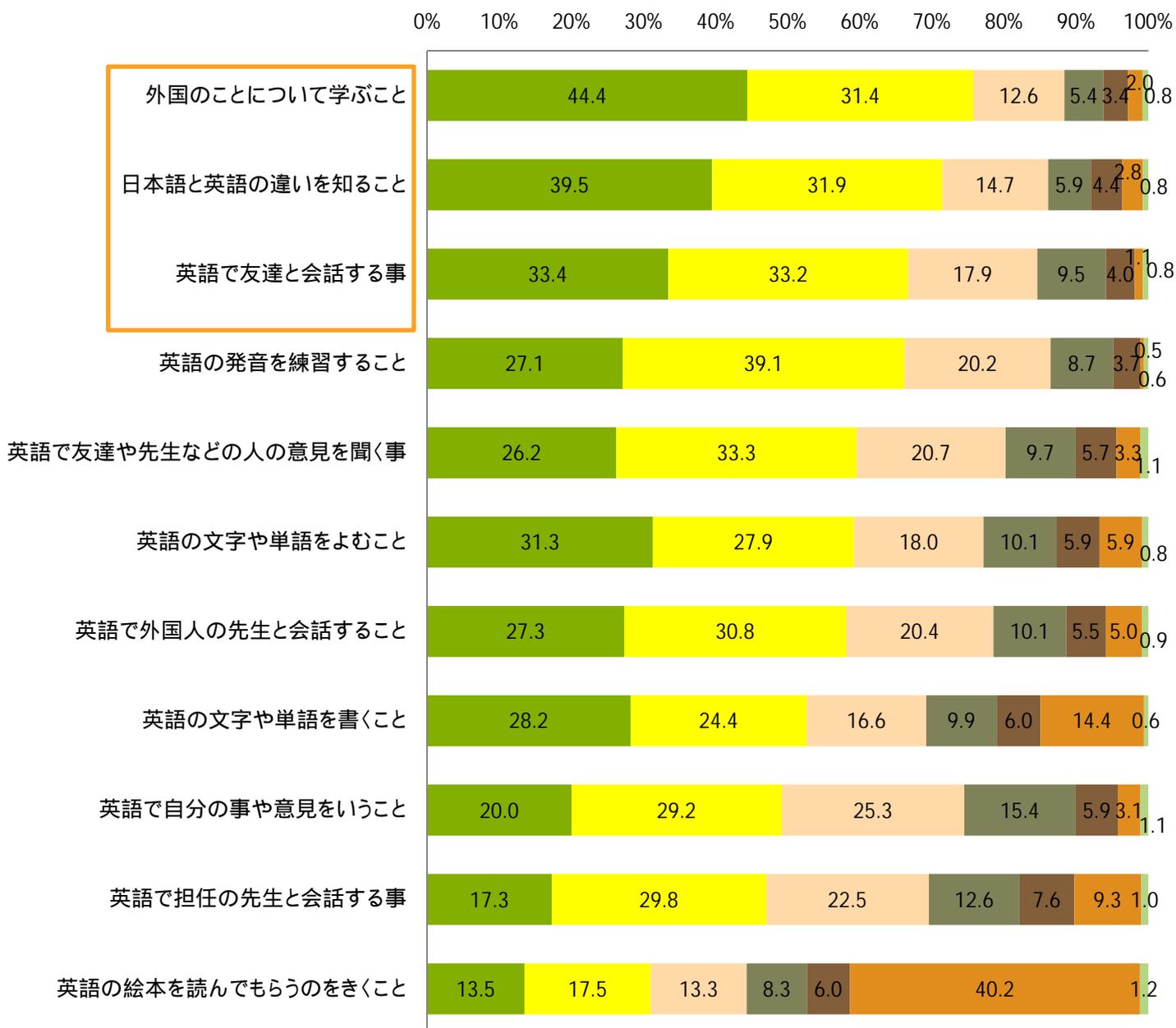
英語の授業に対する意識

英語の授業の中で楽しいと思うことについて、児童の

- ・75.8%が「外国のことについて学ぶこと」
- ・71.4%が「日本語と英語の違いを知ること」
- ・66.6%が「英語で友達と会話すること」と回答。

Q. 英語の授業の中で楽しいと思うことはどのようなことですか。(単数回答)

- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない
- わからない
- 授業でやってないと思う
- 無回答



生徒の外国語活動・外国語科に対する意識

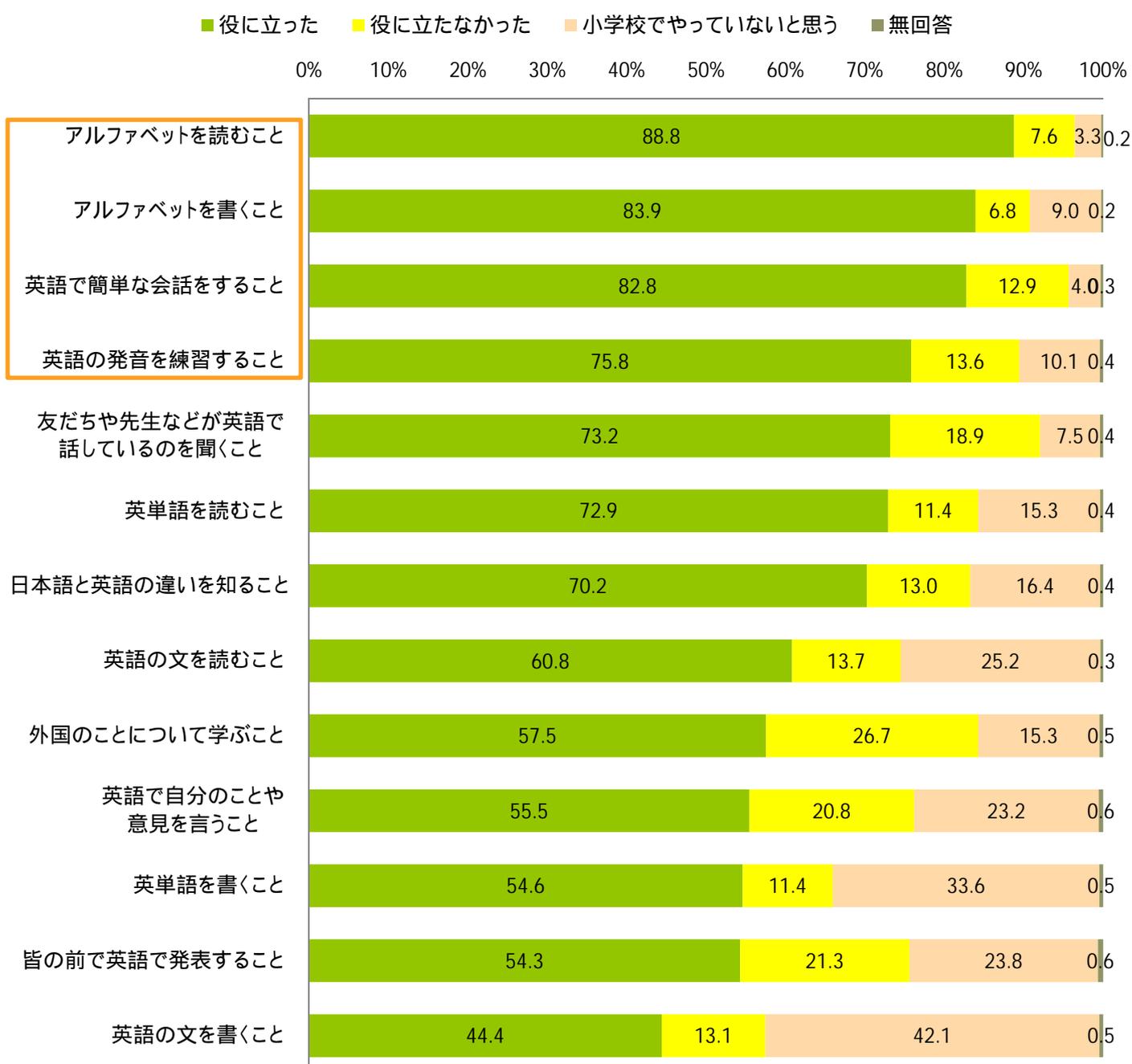
外国語活動で学んだことで中学校で役に立ったこと（中1）

小学校の英語で学んだことで、中学校の授業で役に立ったことについて、生徒の

- ・88.8%が「アルファベットを読むこと」
- ・83.9%が「アルファベットを書くこと」
- ・82.8%が「英語で簡単な会話をする事」
- ・75.8%が「英語の発音を練習すること」

と回答。

Q. 小学校の英語の授業で学んだことの中で、中学校の英語の授業で役に立ったことはありますか。
(単数回答)

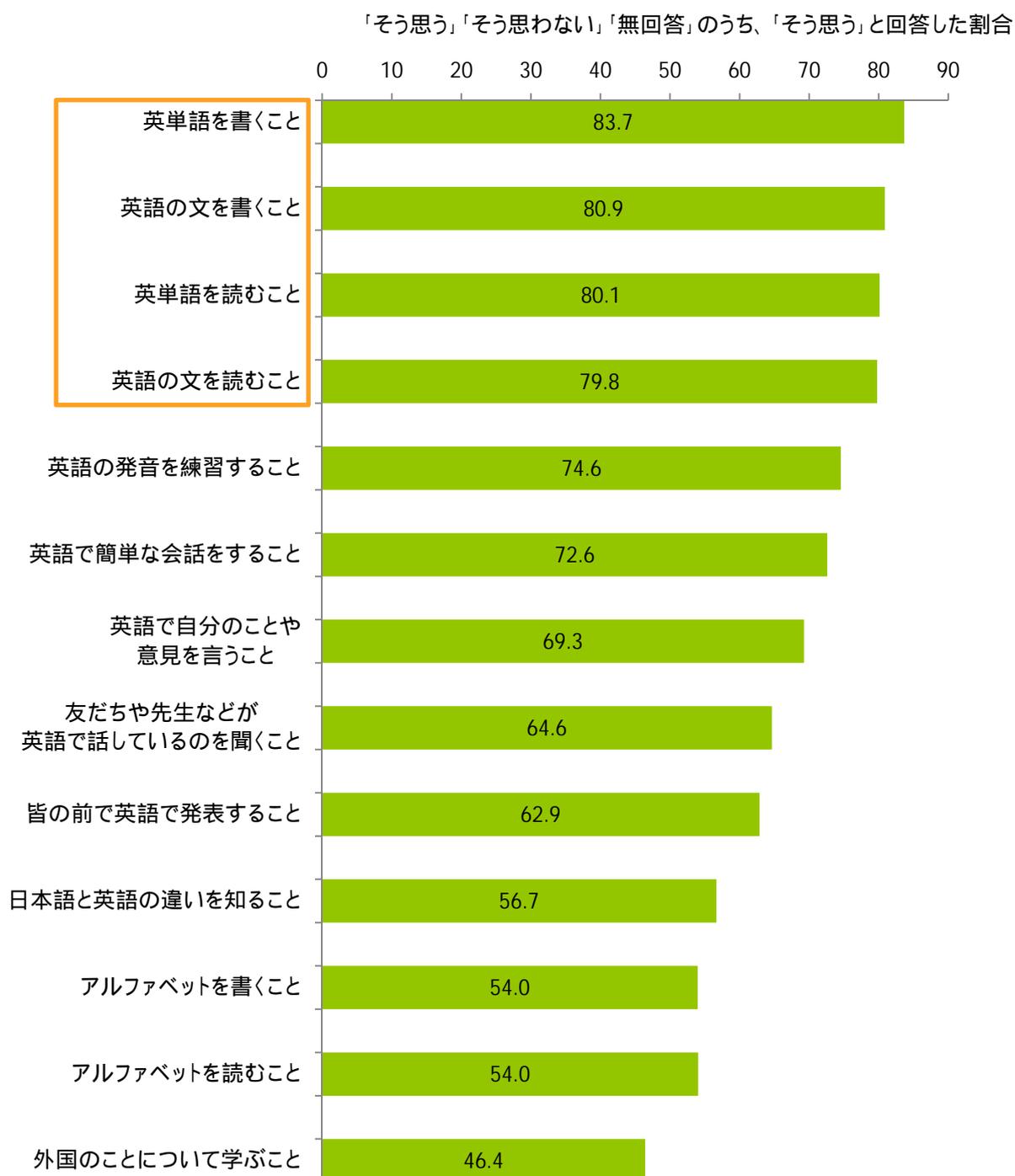


生徒の外国語活動・外国語科に対する意識

小学校の外国語活動でもっと学習しておきたかったこと（中1）

小学校の外国語活動において、生徒の80.1%が「英単語を読むこと」、83.7%が「英単語を書くこと」、79.8%が「英語の文を読むこと」、80.9%が「英語の文を書くこと」をもっと学習しておきたかったと回答。

Q. 以下の項目は、小学校の外国語活動でもっと学習しておきたかったと思いますか。



生徒の外国語科に対する意識

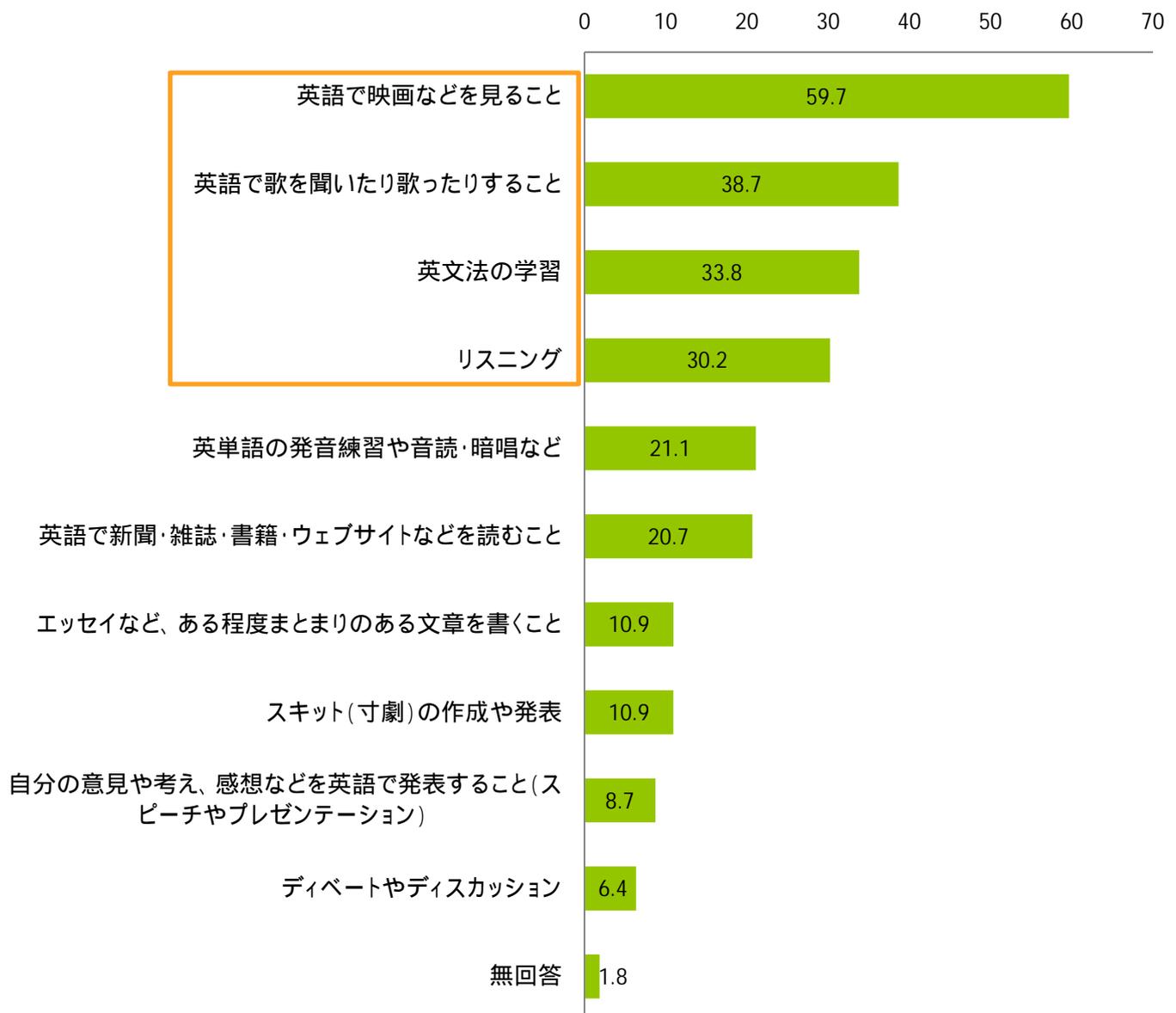
英語の授業でもっとしてみたいこと（中2）

中学校の英語の授業の中で、生徒の

- ・59.7%が「英語で映画などを見ること」
- ・38.7%が「英語で歌を聞いたり歌ったりすること」
- ・33.8%が「英文法の学習」
- ・30.2%が「リスニング」を「もっとしてみたい」と回答。

「自分の意見や考え、感想などを英語で発表すること（スピーチやプレゼンテーション）」8.7%、「ディベートやディスカッション」6.4%について、生徒が「もっとしてみたい」と回答。

Q. 英語の授業の中で、どのようなことをもっとしてみたいと思いますか。（3つまで選択可能）



外国語科担当教員の中学1年生に対する意識

外国語活動を経験した中学1年の生徒の変容について

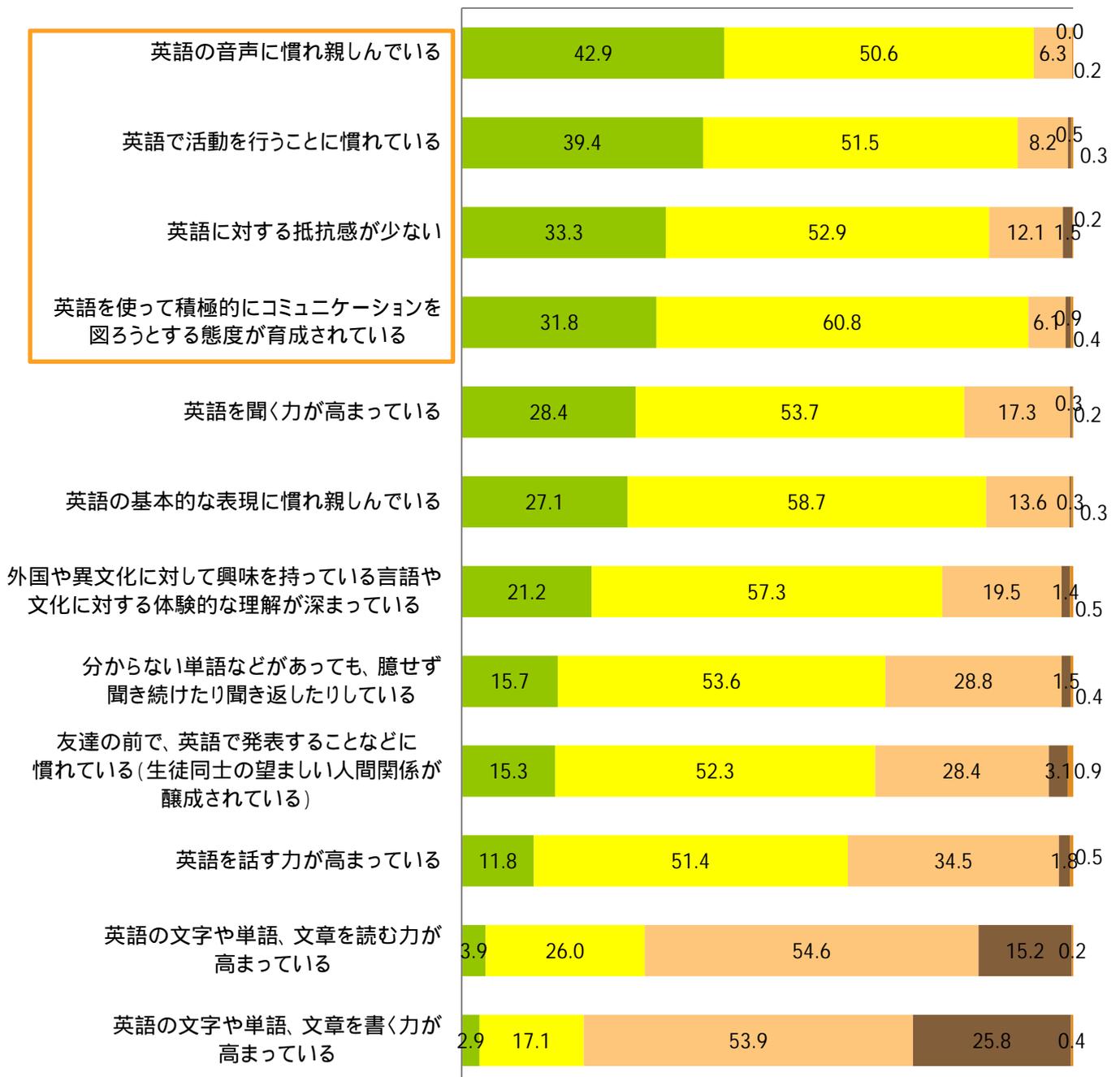
小学校で外国語活動を経験したことにより、「英語の音声に慣れ親しんでいる」93.5% (92.2%)、「英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されている」92.6% (91.9%) などの成果や変容が見られる。

上記の%数値は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

Q. 具体的にどのような成果や変容がみられましたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。(複数回答可)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ まったくそう思わない ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

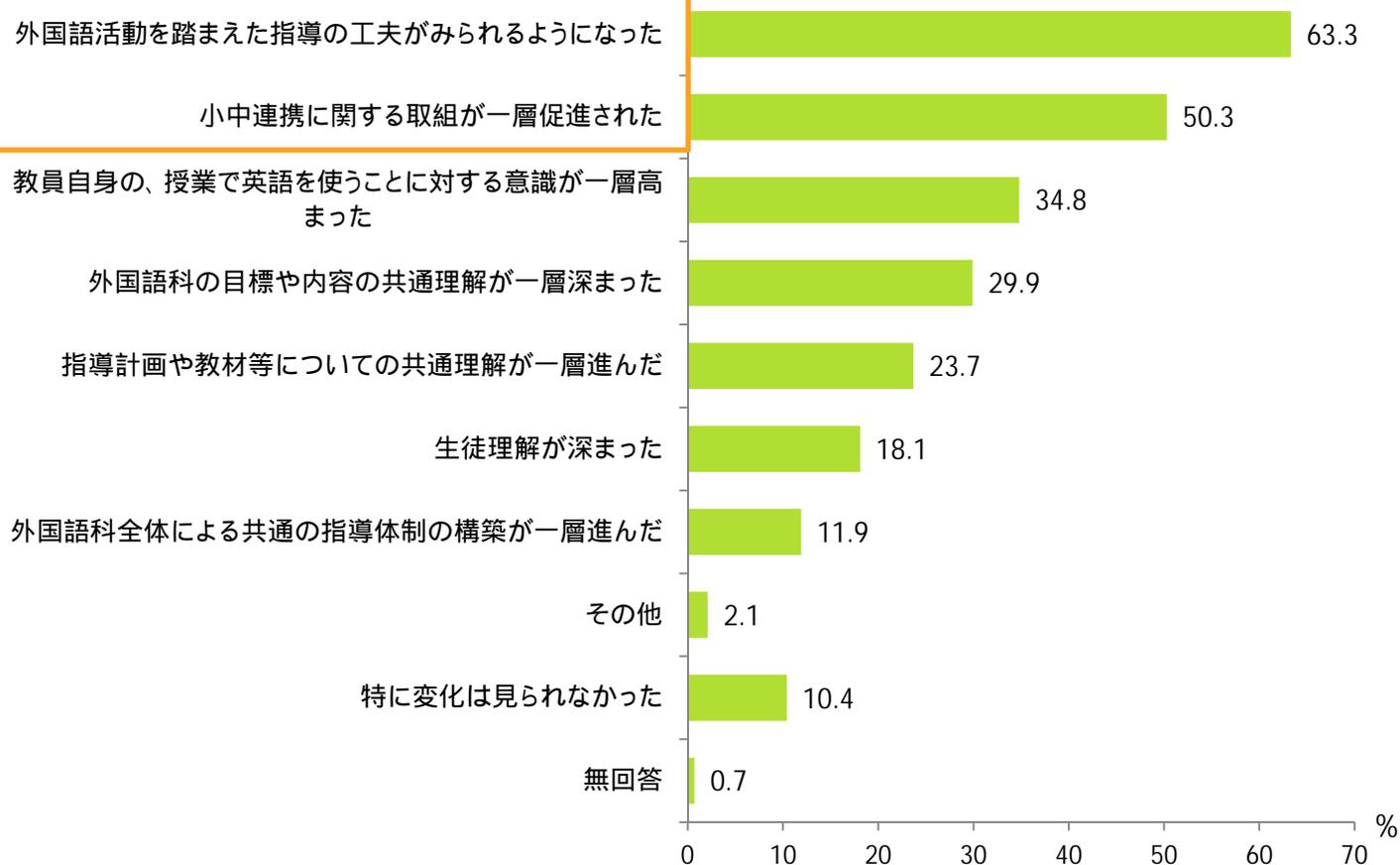


中学校管理職の外国語科担当教員に対する意識

中学校外国語科担当教員の変容

「小学校で外国語活動が行われたことで、中学校外国語担当教員に変化が見られたこと」として、管理職の63.3%が「外国語活動を踏まえた指導の工夫」、50.3%が「小中連携に関する取組の促進」と回答。

Q. 小学校で外国語活動が行われたことで、貴校の外国語科担当教員に変化は見られましたか。
(複数回答)



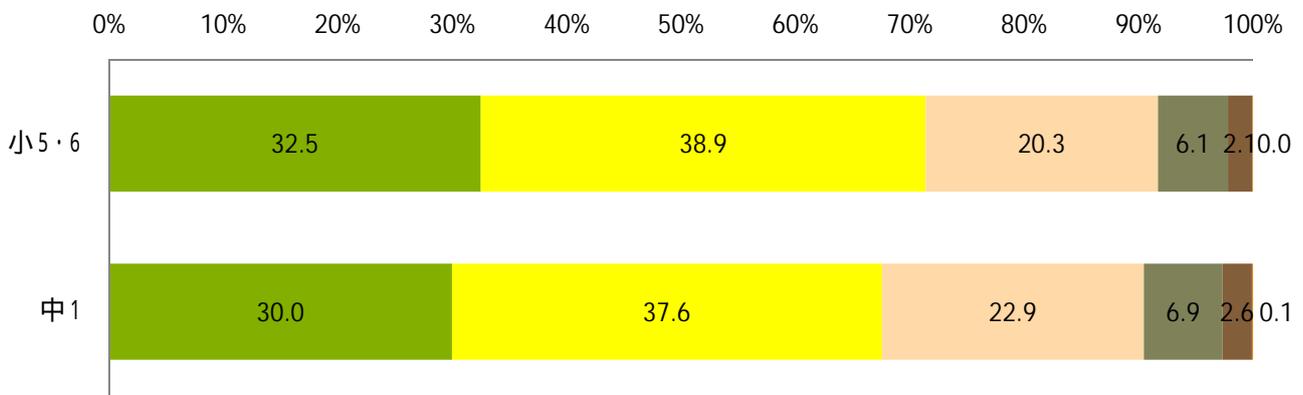
児童生徒の外国語活動・外国語科に対する意識

英語の授業に対する意識（小5・6、中1）

71.4%（小5・6）、67.6%（中1）が「英語の授業に進んで参加している、どちらかといえば進んで参加している」と回答。

Q あなたは、英語の授業に進んで参加していますか。（単数回答）

- 進んで参加している
- どちらかといえば進んで参加している
- どちらともいえない
- どちらかといえば進んで参加していない

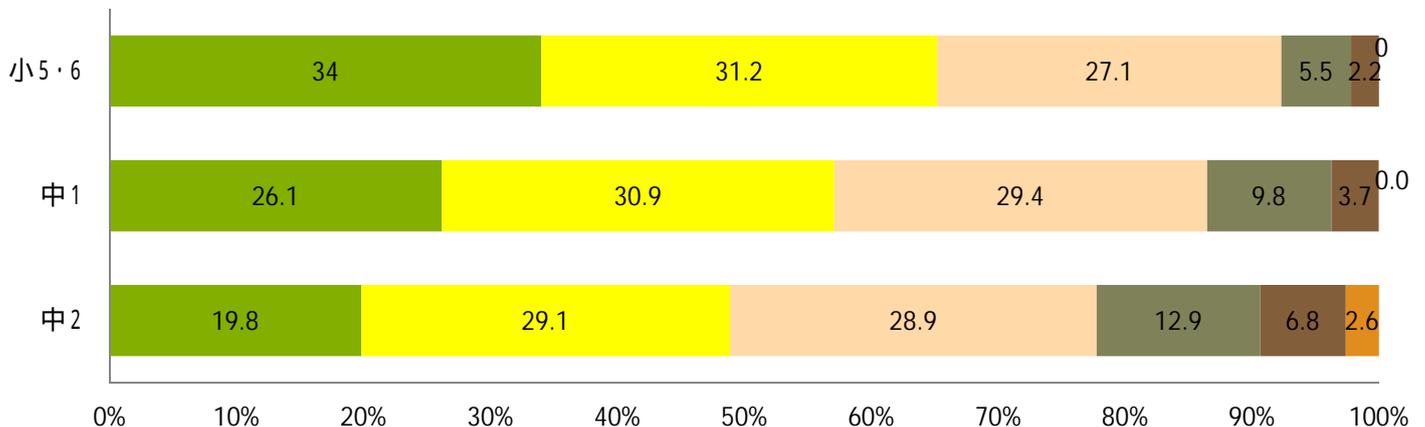


授業の理解についての状況（小5・6、中1、中2）

小学5・6年生、中学1年生、中学2年生を比較すると、「英語の授業を理解している、どちらかといえば理解している」と回答した割合は減少している（65.2% 57.0% 48.9%）。

Q. 英語の授業の内容を理解していると思いますか。（再掲）

- 理解している
- どちらかといえば理解している
- 半分くらい理解している
- どちらかといえば理解していない
- 理解していない
- 無回答



学級担任（外国語活動担当教員）の外国語活動に対する意識

外国語活動に対する意識

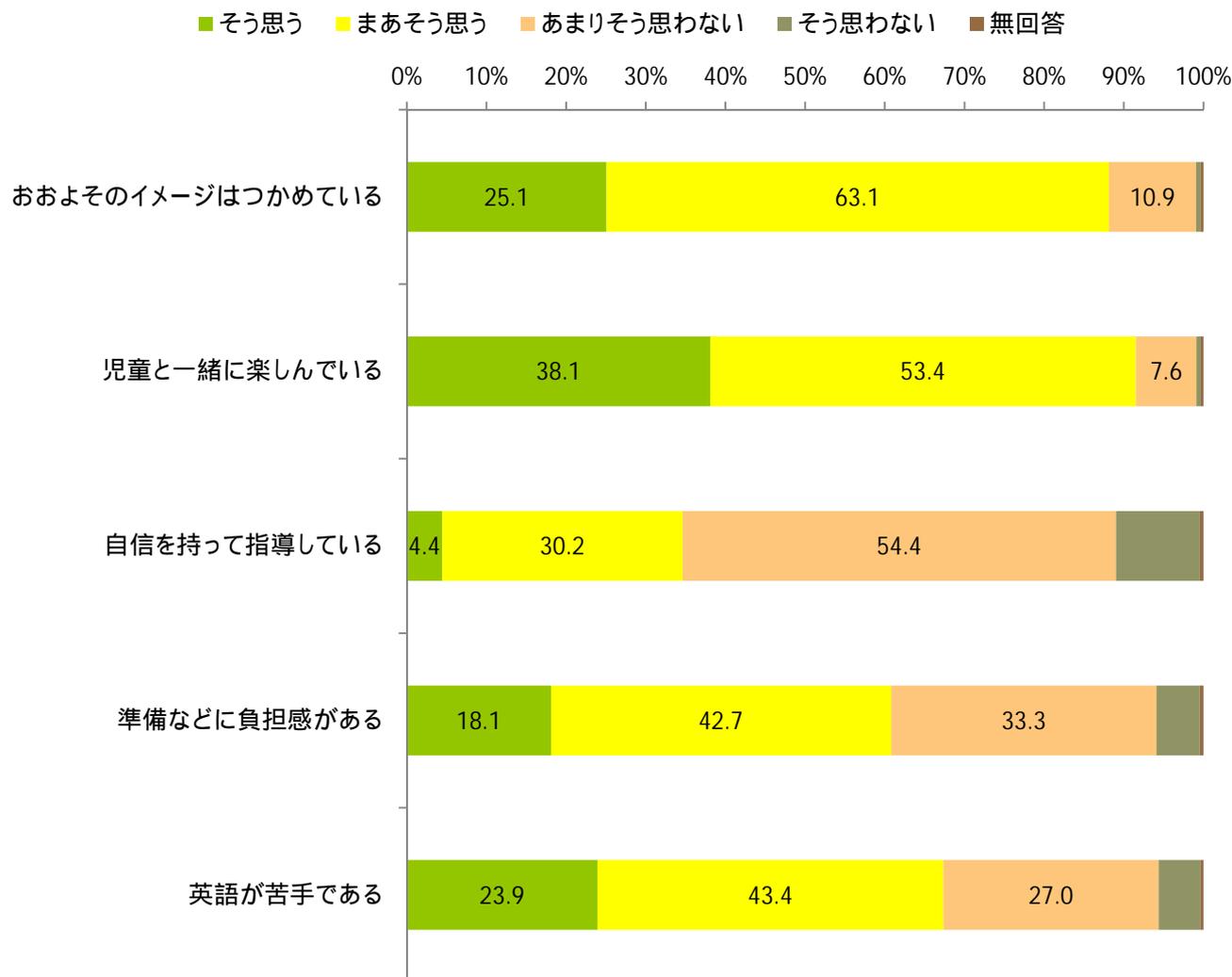
外国語活動に対する意識に関して、教員の88.2%（88.4%）が「おおよそのイメージはつかめている」、91.5%（90.8%）が「児童と一緒に楽しんでいる」と回答。

一方、教員の

- 34.6%（38.9%）が「自信を持って指導している」
- 60.8%（63.8%）が「準備などに負担感がある」
- 67.3%（63.7%）が「英語が苦手である」と回答。

（ ）内は、前回調査結果

Q. 外国語活動に対する意識(単数回答)



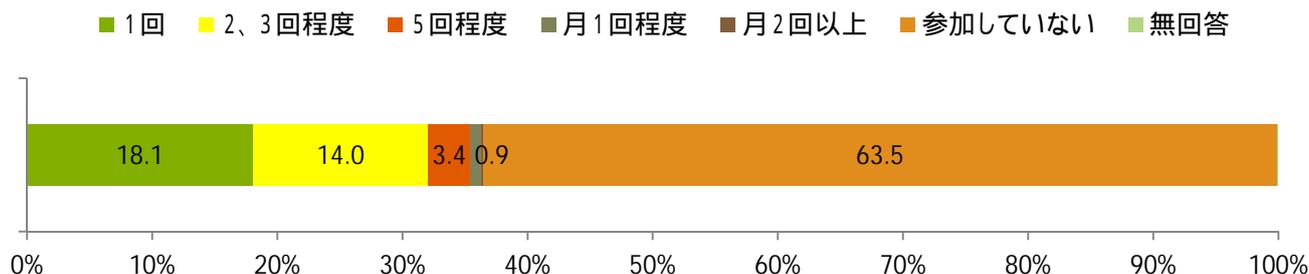
学級担任（外国語活動担当教員）の研修に対する意識

学校外の研修について

教員の63.5%（50.8%）が「今年度中に、学校外の外国語活動に関する研修に参加していない」と回答。

()内は、前回調査結果

Q. あなたは今年度中にどの程度外国語活動に関する学校外での研修に参加しましたか。(単数回答)

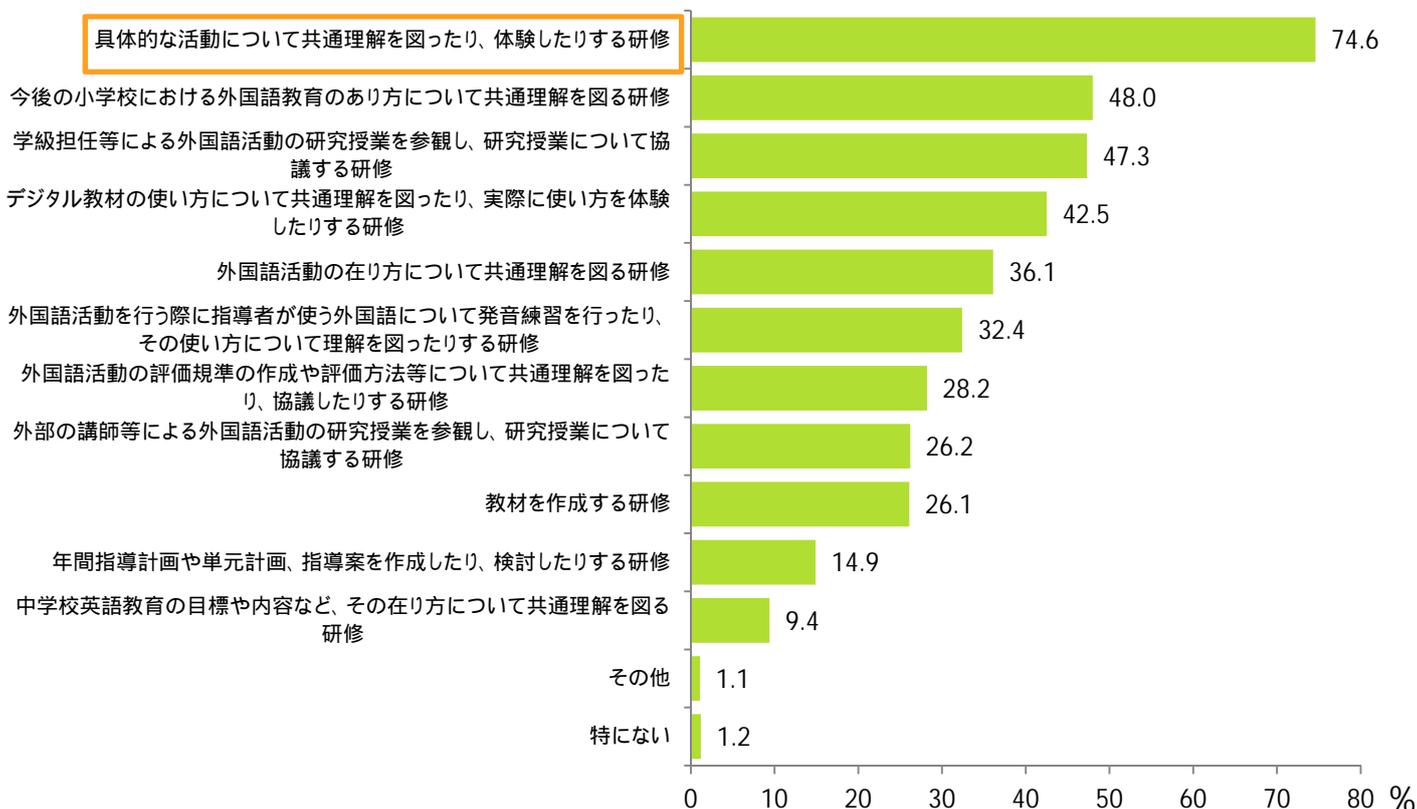


必要と感じる研修について

教員の74.6%（75.4%）が「具体的な活動について共通理解を図ったり、体験したりする研修が必要」と回答。

()内は、前回調査結果

Q. あなたが必要と感じる研修について、あてはまるものをすべて選んで をつけてください。(複数回答可)



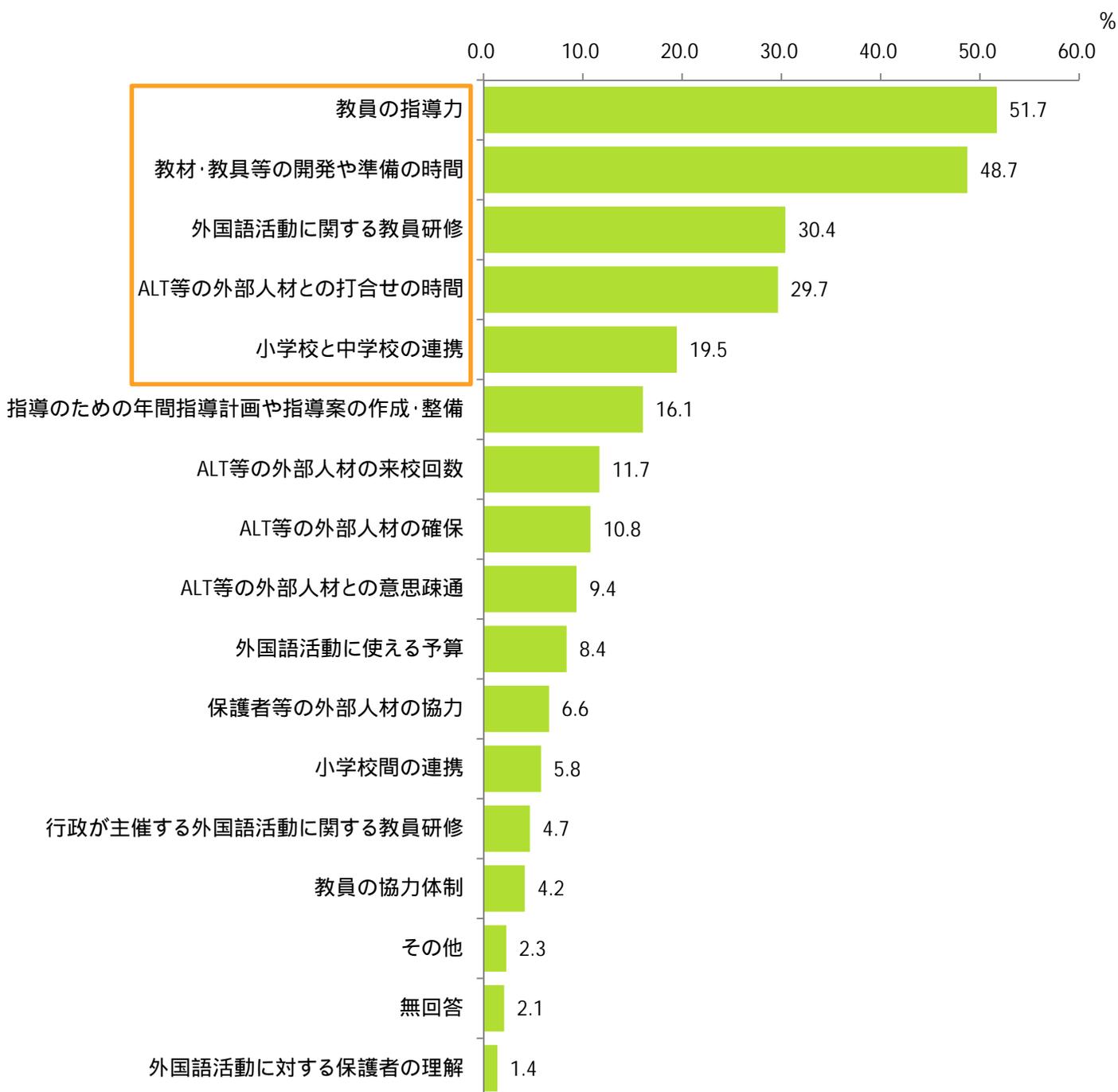
学級担任（外国語活動担当教員）の外国語活動に対する意識

今後の外国語活動実施に関する課題

今後の課題として、「教員の指導力」51.7%（45.1%）、「教材・教具等の開発や準備の時間」48.7%（51.4%）、「外国語活動に関する教員研修」30.4%（23.8%）、「ALT等の外部人材との打ち合わせの時間」29.7%（30.2%）、「小学校と中学校の連携」19.5%（17.1%）などが挙げられている。

（ ）内は、前回調査結果

Q. 今後の外国語活動の実施にあたっての課題は何だと思いますか。（複数回答可）



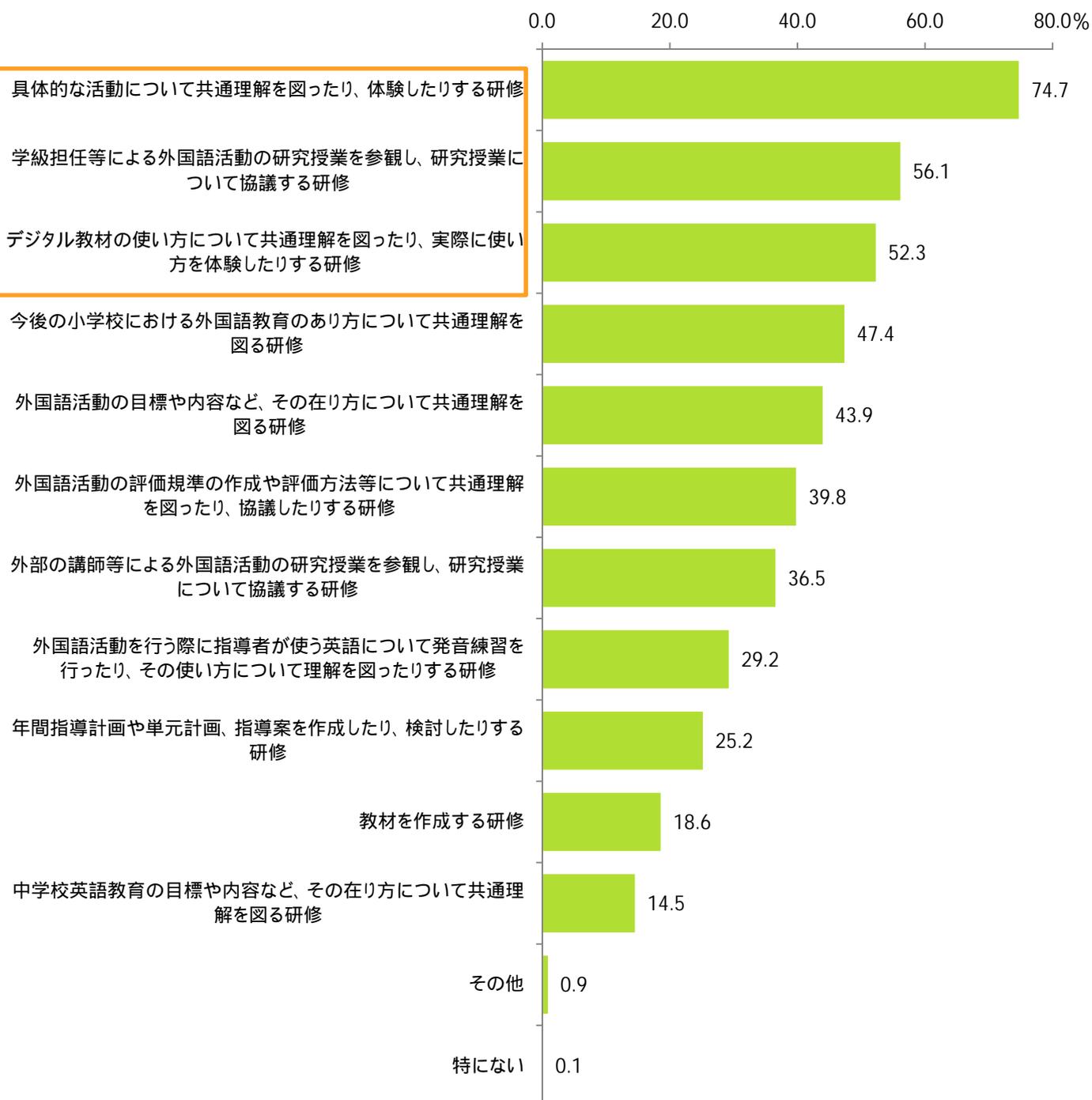
(4 - 2) 小学校管理職の研修に対する意識

必要だと感じる研修

研修について、

- ・「具体的な活動について共通理解を図ったり、体験したりする研修」74.7% (75.3%)
- ・「学級担任等による外国語活動の研究授業を参観し、研究授業について協議する研修」56.1% (61.5%)
- ・「デジタル教材の使い方について共通理解を図ったり、実際に使い方を体験したりする研修」52.3% (51.3%) などの研修が必要と回答。

Q. 必要と感じる研修について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)



生徒の外国語活動・外国語科に対する意識

英語の授業での取組状況（中2）

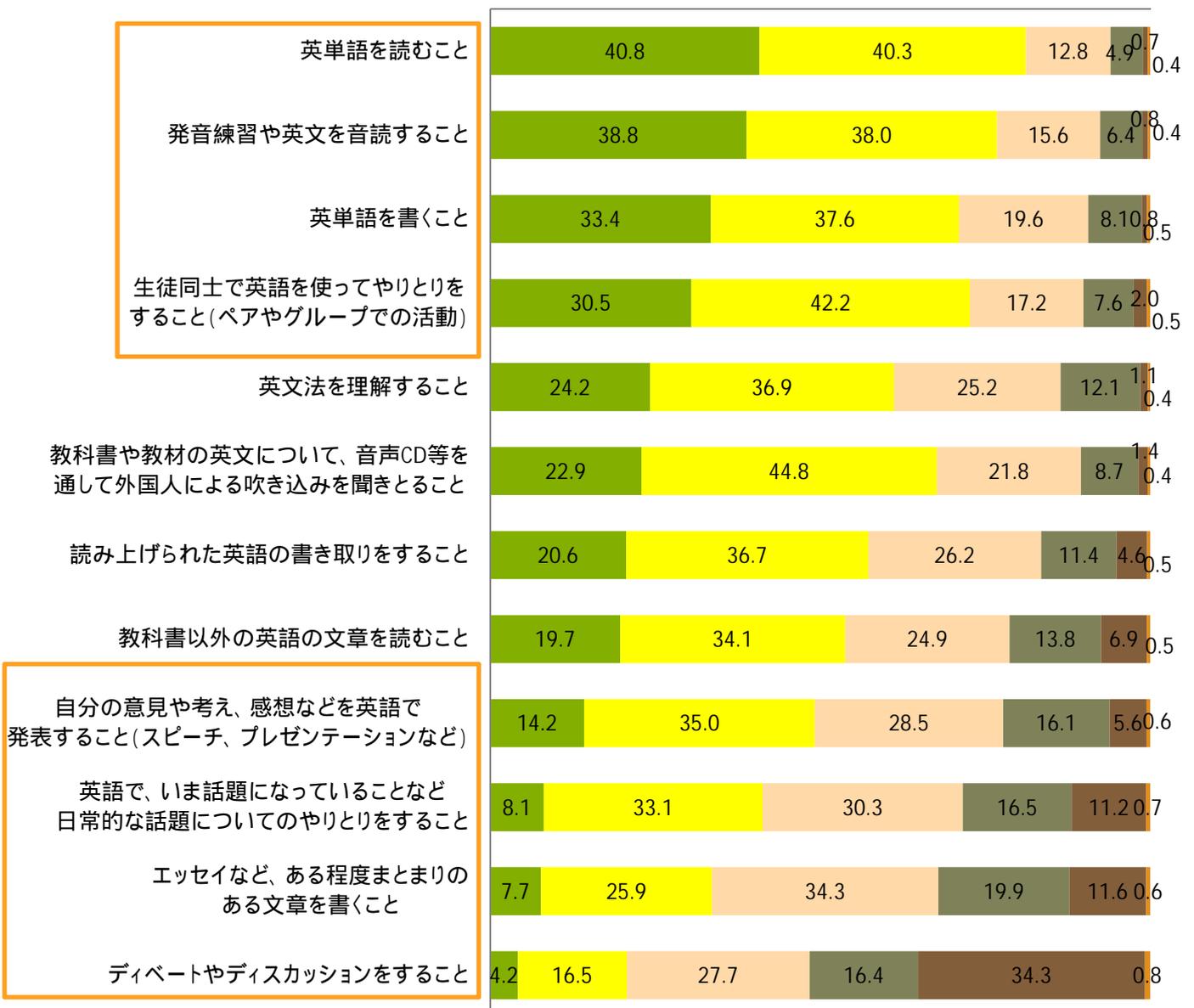
授業でどの程度できていると思うかについて、生徒の

- ・ 81.1%が「英単語を読むことができています」
 - ・ 76.8%が「発音練習や英文を音読することができています」と回答。
- 一方で、
- ・ 33.6%が「エッセイなど、ある程度まとまりのある文章を書くことができています」
 - ・ 20.7%が「ディベートやディスカッションをすることができています」と回答。

Q. 英語の授業の中で、次の項目についてどの程度できていると思いますか。（単数回答）

- ほぼできている
- どちらかといえばできている
- どちらかといえばできていない
- ほとんどできていない
- 授業でやったことがないと思う
- 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



中学校外国語科担当教員の指導状況

授業における言語活動の指導

「文法の説明」98%や「言語材料を活用できるようにするための練習」97.8%に比べ、それをさらに活用して行う「スピーチ」56.6%、「プレゼンテーションやスキット（寸劇）」36.0%、「ディベート、ディスカッション」34.7%の割合は低い。

上記の%数値は「よく行う」「時々行う」の合計

Q. あなたの英語の授業において、次のようなことをどのくらい行いますか。（単数回答）

■よく行う ■時々行う ■あまり行わない ■ほとんど行わない ■無回答

